

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 金子 順一 (TEL) 03-6891-4970
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,005	2.8	△426	—	△380	—	△402	—
25年3月期第3四半期	10,708	1.8	213	△66.2	131	△74.0	96	△76.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △398百万円(—%) 25年3月期第3四半期 55百万円(△86.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△50.77	—
25年3月期第3四半期	12.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,064	6,147	20.4
25年3月期	29,768	6,570	22.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,147百万円 25年3月期 6,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	5.4	△670	—	△570	—	△590	—	△74.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	8,143,390株	25年3月期	8,143,390株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	205,967株	25年3月期	205,967株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	7,937,423株	25年3月期3Q	7,950,711株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、成長率が鈍化傾向にあった中国景気の持ち直しが確認されたものの、今後の安定成長の持続に課題を残しました。欧州景気は、引き続き雇用情勢は厳しいものの、輸出の改善を受け、薄日の広がりを見せ始めました。景気回復が持続的なものになりつつある米国においても、雇用の改善が顕著となり、量的緩和の穏やかな縮小に踏み出しました。懸念材料を抱えるものの、全体としては、景気回復の兆しが随所に見られる展開になりました。

日本経済は、アベノミクスや日米金利差による円安の定着、株価の上昇により回復が鮮明になり、個人消費は、消費者マインドの改善に加え雇用・所得環境の良化から底堅く推移し、企業の景況感も、大企業に加え中小企業も大幅に改善されました。株式市場も活況を呈し、期末には、16,000円台に回復しました。政府は、昨年10月1日に4月からの消費税率引き上げを決定しましたが、併せて、企業減税や経済対策の策定に入っており、今後は如何に経済成長と財政再建を同時に達成する好循環を実現できるかが試される展開が予想されます。

このような状況の中、当社グループはお客様との関係強化に努め、お客様のニーズに応えるべく新製品の開発や既存製品の拡販に取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,005,022千円（前年同期比+296,343千円、+2.77%）となりました。

損益面では、円安による増収効果はあったものの、原材料の上昇も伴ったこと、前年度期央と当期初に稼働した二つの新工場の固定費負担増等により、営業損失は△426,638千円（前年同期比△639,706千円）、経常損失は△380,192千円（前年同期比△511,289千円）、四半期純損失は△402,988千円（前年同期比△499,655千円）となりました。

【感光性材料事業】

半導体向け感光性材料においては、スマートフォンやタブレット端末など高精細な表示性能が要求される電子機器の拡販が進み、高価格品を中心に需要が伸長しました。また、液晶用途向け感光性材料も、液晶テレビや液晶ディスプレイなどの価格下落を拡販の努力で補い、売上回復に転じました。加えて、電解液・イオン液体においては、車載用途向け電解液の需要が伸張しており、継続して需要開拓を進めております。

以上の結果、同事業の売上高は6,113,126千円（前年同期比+404,443千円、+7.08%）、営業利益は208,845千円（前年同期比+206,107千円）となりました。

【化成品事業】

香料材料部門は、アベノミクスにより円安の追い風を受けましたが、マーケットにおける価格競争は依然として厳しく、減収減益となりました。また、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に引続き市場開拓を進めていますが、国内半導体市場の低迷の影響を受け、減収減益となりました。一方、ロジスティック部門は、お客様満足度の維持・向上に努めた結果、タンク契約率を高水準に維持し、高い利益率を確保しております。

以上の結果、同事業の売上高は4,891,896千円（前年同期比△108,100千円、△2.16%）、営業損失は△635,483千円（前年同期比△845,813千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は30,064,240千円となり、前連結会計年度末に比べて296,167千円の増加となりました。

流動資産は10,483,405千円で、前連結会計年度末に比べて658,672千円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金654,324千円の増加によるものであります。

固定資産は19,580,834千円で、前連結会計年度末に比べて362,505千円の減少となりました。これは主に建物及び構築物1,460,199千円の増加及び有形固定資産その他に含まれております建設仮勘定1,965,379千円の減少によるものであります。

流動負債は13,701,313千円で、前連結会計年度末に比べて893,750千円の増加となりました。これは主に短期借入金2,340,769千円の増加と流動負債その他に含まれております設備未払金1,069,668千円の減少によるものであります。

固定負債は10,215,027千円で、前連結会計年度末に比べて175,363千円の減少となりました。これは主に長期借入金253,803千円の減少によるものであります。

純資産合計は6,147,899千円で、前連結会計年度末に比べて422,219千円の減少となりました。これは主に利益剰余金426,800千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月8日発表「平成26年3月期 第2四半期決算短信」における通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,669,457	1,723,556
受取手形及び売掛金	2,268,894	2,923,218
商品及び製品	4,416,301	4,501,867
仕掛品	127,322	36,875
原材料及び貯蔵品	927,288	990,295
未収還付法人税等	—	27,129
その他	417,786	283,414
貸倒引当金	△2,316	△2,951
流動資産合計	9,824,733	10,483,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,529,678	7,989,878
機械装置及び運搬具(純額)	4,752,437	4,834,291
土地	4,934,536	4,907,850
その他(純額)	2,797,229	909,287
有形固定資産合計	19,013,881	18,641,307
無形固定資産		
その他	312,335	327,888
無形固定資産合計	312,335	327,888
投資その他の資産		
その他	625,983	620,498
貸倒引当金	△8,861	△8,861
投資その他の資産合計	617,122	611,637
固定資産合計	19,943,339	19,580,834
資産合計	29,768,072	30,064,240

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,039,327	1,798,111
短期借入金	8,110,911	10,451,681
未払法人税等	64,357	12,126
賞与引当金	261,459	118,317
その他の引当金	10,000	—
その他	2,321,507	1,321,076
流動負債合計	12,807,562	13,701,313
固定負債		
長期借入金	8,831,098	8,577,295
退職給付引当金	973,737	996,745
その他の引当金	115,258	132,229
その他	470,295	508,756
固定負債合計	10,390,390	10,215,027
負債合計	23,197,953	23,916,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,484,252	3,057,451
自己株式	△88,923	△88,923
株主資本合計	6,555,806	6,129,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,604	18,893
繰延ヘッジ損益	708	—
その他の包括利益累計額合計	14,312	18,893
純資産合計	6,570,119	6,147,899
負債純資産合計	29,768,072	30,064,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	10,708,679	11,005,022
売上原価	8,662,595	9,535,947
売上総利益	2,046,083	1,469,075
販売費及び一般管理費	1,833,015	1,895,713
営業利益又は営業損失(△)	213,068	△426,638
営業外収益		
受取利息	38	49
受取配当金	6,426	6,821
為替差益	16,944	116,312
その他	72,447	115,230
営業外収益合計	95,857	238,413
営業外費用		
支払利息	142,280	176,751
その他	35,548	15,216
営業外費用合計	177,828	191,968
経常利益又は経常損失(△)	131,096	△380,192
特別利益		
固定資産売却益	—	13,583
特別利益合計	—	13,583
特別損失		
固定資産売却損	—	9,233
固定資産除却損	13,523	15,392
特別損失合計	13,523	24,625
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	117,573	△391,234
法人税、住民税及び事業税	7,858	7,834
法人税等調整額	13,144	3,919
法人税等合計	21,003	11,753
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	96,569	△402,988
少数株主損失(△)	△96	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,666	△402,988

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	96,569	△402,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,246	5,289
繰延ヘッジ損益	△28,520	△708
その他の包括利益合計	△40,767	4,580
四半期包括利益	55,802	△398,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,899	△398,407
少数株主に係る四半期包括利益	△96	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,708,683	4,999,996	10,708,679	—	10,708,679
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	686,201	686,201	△686,201	—
計	5,708,683	5,686,197	11,394,881	△686,201	10,708,679
セグメント利益	2,738	210,329	213,068	—	213,068

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,113,126	4,891,896	11,005,022	—	11,005,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	84,645	84,645	△84,645	—
計	6,113,126	4,976,541	11,089,667	△84,645	11,005,022
セグメント利益又は損失(△)	208,845	△635,483	△426,638	—	△426,638

(注) セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。